

平成24年度

学校評価報告書



帝塚山幼稚園

1. 学校評価総括

建学の理念

「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」

教育目標

幼児の発達段階に応じて一人ひとりの個性を生かし、気品と礼節のある子ども、強健な体と豊かな感性を持つ子ども、自立的かつ自律的精神を持つ子ども、表情の豊かな子どもを育成する。

これまでの成果と課題

礼儀正しく、品性豊かな子どもの育成において高く評価されている。またさまざまな体験活動、表現活動を通して園児の感性を磨いてきた。今後教員の指導力向上に取り組み、園児の成長により一層の成果をもたらすよう取り組みたい。

本年度の重点目標	具体的目標	総合評価
保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none">・公徳心の涵養・園児の表現力向上のための保育内容の点検・改善・身体能力向上のための環境整備	学園講堂での歌声と音読の発表会開催や60周年記念幼小合同花火大会の開催、60周年記念事業として施設設備の拡充など実施した。また、公開研究会は、160名を超える参観者があり、盛会に終えることができた。さらに、保護者アンケートの結果を公表し、それを受けた改善も行った。
教員の意識改革・行動改革推進	自己点検シートを通して自己の教育活動を振り返る	募集対策に関しては、外部に対し積極的に広報活動を展開し、昨年度より、若干の入園者増があったが、定員を満たすことはできなかった。
園児募集活動の強化	帝塚山幼稚園教育の広報活動の充実	

2. 教育活動に関する評価

評価項目	評価指標	自己評価
教育課程・指導		
教育目標の設定	建学の精神と幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい教育目標を設定する	A
教育目標の周知	園の教育目標を教職員、保護者に恒常的に周知を図る	A
指導計画の作成	教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成する	A
	あそびを通して工夫したり、友だちと協力できる力を向上する	
	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう	
研修	全職員が年に1回以上園内公開保育を行なう	A
	外部研修に積極的に参加し、その内容・頻度及び結果報告をする	
	参加した外部研修の成果を内部研修などで発表し、教職員の共通理解を図る	

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

3. 学校経営に関する評価

評価項目	評価指標	自己評価
経営・運営		
組織運営	園長の指導のもと、教育目標の周知を図る	B
	校務分掌の適切な運営とその責任体制を整備する	
安全管理	安全点検マニュアルの周知徹底を図る	B
	日常の安全点検・定期的安全点検を充実させる	
保健管理	地域保健・医療機関との連携を密にする	A
	日常の健康観察をきめ細かく行う	
	園児の怪我等に速やかに対応する	
情報管理	個人情報の適切な管理に努める	B
	各種情報の周知徹底する	
保護者との連携	育友会活動に参加し、連携を緊密にする	A
	保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	
情報提供	園だより等で幼稚園の情報を発信していく	A
	「クラスだより」は毎月発信して情報を共有する	
	ホームページの更新に努力する	
子育て支援	子育て支援講座を定期的実施する	A
預かり保育	保護者の要望に応じて預かり保育を行う	B

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】